

# 平成26年度第4回普賢寺小学校コミュニティ・スクール推進委員会 会議録

## 1 開会

## 2 公開に係る説明

【事務局から説明】

## 3 議事

### (1) 学校運営協議会の組織等の検討

【3つのグループに分かれて討議】

【各グループの討議内容の発表】

(設置趣旨)

- 「地域社会に根付く小学校を目指す」という文言を盛り込むべき。
- 子ども達が色々と学習を重ねた結果、「地域を誇れる子ども」「自分の学校を誇れる子ども」になるのではないか。

(所掌事項)

- 「学校運営協議会の活動内容の情報発信」を付け加える。
- 「(2) 教育活動の説明・情報発信」の意味が不明確ではあるが、「委員が学校から教育活動の説明を受けて、地域に発信していく」という意味であれば必要な事項ではないか。

(委員の人数)

- 昔の家族構成を考えると10人前後が丁度良いのでは。
- 年度毎に必要な人材に加入してもらい余裕が必要なので、「15名以内」といった表現とすればどうか。
- 20人以内。

#### (委員の構成)

- 地域、学校（校長及び担当教員）、保護者代表（PTA・特認・幼稚園保護者）を委員とし、学校評議員は発展的に解消させる。
- 事務局案のとおりで良い。
- 区長、PTA 会長、有識者、部会長、学校、特認保護者、幼稚園保護者、学校評議員を委員とする。

#### (委員の任期)

- 任期は2年で再任を可とするが、充て職の場合は1年とする。
- 意欲のある人に長く委員でいてもらうため、再任は可とする。
- 委員は役職が変わっても残ってほしい。

#### (部会)

- 部会は置くべき。
- 「部会を置くことができる」といった規定にすればどうか。

#### (報償)

- 責任を持ってもらう意味で、額はともかく報償は必要ではないか。

#### (名称)

- 普賢寺小学校コミュニティ・スクール〇〇〇〇（愛称）
- 普賢寺小学校学校運営協議会で良いが、愛称を地域から募集すればどうか。

#### まとめ

- 多数意見の中に少数意見を取り込んでいくのが民主主義のあり方であるが、本推進委員会の議論は段々と理想的な形になっているし、コミュニティ・スクールはこういう雰囲気の中で生まれてくるもの。

- 算数教育では、教師の進行の下、選ばれた子どもが案内役となって学習を進める「練り上げ」がトレンドとなっているが、ここでは自然と出来ているように感じており、残り少ない期間ではあるが、今後に希望が湧いてくる。
- 情報発信は難しい。どういう方法が良いのか、十分検討しなければならない。
- 学校運営協議会の名称に関しては、「本はタイトルで売れる」といったこともあるので、アピール力のある名称なり愛称が考えられれば。

## (2) その他

**【事務局から次回の開催日程等を連絡】**